

研究実施における情報公開 (松戸歯学部単独研究)

研究の名称； 口腔インプラント科来院患者のインプラント治療に対する後ろ向き臨床検討
(承認番号 EC18-15-038-1 号)

研究機関・講座； 日本大学松戸歯学部・クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学講座

研究責任者； 専任講師・井下田 繁子

研究期間；平成 28 年 4 月 ～ 平成 33 年 3 月

1. 研究対象者

本付属病院口腔インプラント科に来院し、診療を受けられた方

2. 研究目的・意義

現在、口腔インプラント科では、上記の新規研究課題に対して、ご協力者からいただいた情報を使って実施しています。

<目的> 口腔インプラント治療は広く社会に受け入れられるようになり、欠損補綴の治療において義歯、ブリッジとならびインプラント治療が患者から選択されることが増加した。インプラント治療においては、日々新しいエビデンスや臨床成績、基礎研究結果が明らかになり、新しい材料の開発が行われています。

今回、実態調査として口腔インプラント科に来院された患者の診療録を中心に調査することによって患者の治療の希望、治療計画後の経時的な変化を各項目毎に数量化し集計することによりインプラント治療の現状を把握することを目的としています。

3. 方法

口腔インプラント科に来院した患者の診療録を調査することにより初診時からインプラント治療、メンテナンスという診療の流れの中で得られた診療録を調査し、各項目毎に単純集計を行う。

4. 研究に利用する試料・情報等

情報：診療録情報（年齢・性別・既往歴、診断名 等）

【試料・情報等の取扱い】

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした試料・情報等には匿名化処理を行い安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

5. お問い合わせ先

本研究は、倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした試料・情報等には匿名化処理を行い安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。研究の詳細をお知りになりたい場合は、下記までお問い合わせください。他の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書等を閲覧することが出来ます。

本研究で得られた成果を専門の学会や学術雑誌に発表する可能性があります。成果を発表する場合には、研究に参加していただいた方のプライバシーに慎重に配慮します。個人を特定できる情報が公表されることはありません。

なお、研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究で利用して欲しくない」と思われた場合にも、その旨をご連絡下さい。ご了承いただけない場合には研究対象といたしません。また、その場合でもご自身に不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ先>

研究責任者：
日本大学松戸歯学部・クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学講座・専任講師・井下田繁子
電話番号：047-360-9633

以 上